

単元名：作家で広げる私たちの読書

「好きな本の紹介をしよう」

(全5時間扱い中 第3時)

授業日時 2021年7月9日(金)第2校時

授業学級 5年東組

授業会場 5年東組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立て&ねらい)

自分が好きな本やお気に入りの本がある子ども達が、本を読み広げる場面で、自分が好きな本をお互いに紹介し合うことを通して、読んだことがない本を読みたいと思うことができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 普段読む本を思い出す。	・ぼくらの七日間戦争 ・エルマーの冒険 ・ドラゴンボール	「皆さんは普段、どんな本を読みますか？どんな本が好きですか？漫画でも良いですよ。」	5分
	【学習問題】本を読み広げよう。			
	2. 紹介カードの例を見る	・この本知ってる。面白いよね。 ・この本知らないけど、紹介読んだら面白そうだな	「先生が好きな本の紹介カードを書いてみました。」 「これを見て、本読んでみたいと思いましたか？」	5分
	【学習課題】お互いに好きな本を紹介し合って、新しい本に出会おう。			
展開	3. 紹介の仕方を考える。	・どんな話かわかる ・面白さが伝わる ・自分でも読んでみたくなるような見た目	「どう紹介すれば、『この本読んでみたい』と思ってもらえるかな？」	5分
	4. 紹介カードを書く。	・私は「コナン」について書こう。 ・「手紙」の面白さを伝えるために、写真を貼りたいな。	「好きな作品を1つ決めて紹介カードを書いてみましょう。漫画でも良いですよ。」	15分
	5. 紹介カードを見合う。	・この本面白そうだね。読んでみたいな。 ・こんな本もあるんだ。図書館にあるのかな？探してみよう。	※紹介する本についてより深く知るためにクロムブックで調べたり、より興味を惹くカードになるように画像を印刷しても良い。 「紹介シートを机に置いて、みんなで見て回りましょう。ワークシートに、どの本が読みたくなったか、なぜそう思ったか、紹介シートのどこが良かったか書いてください。」【ワークシート】	10分
	【本時の評価(評価する対象)】 紹介された本を読みたいと思うことができる(ワークシート)			

終末	6. 紹介された本の中で読みたいと思った本を発表する。	・〇〇さんが紹介した「NARUTO」が面白そうだと思います。	「紹介された本の中で読みたいと思った本を教えてください。」 「紹介カードのどんなところに惹かれましたか？」	5分
----	-----------------------------	--------------------------------	--	----